

アルファルファ抽出エキスが毛乳頭細胞の活性化に関与 毛髪成長因子の発現量促進も確認

～2019年3月20日(水)～23日(土) 日本薬学会 第139年会にて発表～

株式会社 毛髪クリニック リーブ21 (本社：大阪市中央区、代表取締役社長：岡村勝正、以下リーブ21) は2019年3月20日(水)～23日(土)に千葉で開催される「日本薬学会 第139年会」において、「アルファルファ抽出エキスの毛乳頭細胞活性化作用」を発表いたします。

【研究概要】

毛包組織には毛乳頭と呼ばれる器官が存在し、毛周期を司る役割を担っています。毛髪の太さはこの毛乳頭塊の大きさや活性によって決定することから、毛乳頭細胞をターゲットにした育毛成分の探索が多くおこなわれています。一方、アルファルファ(学名 *Medicago sativa*)は、マメ科ウマゴヤシ属の多年草で、栄養価が高く、抗酸化やコレステロール値低下など様々な効能が報告されていることに注目。しかし、育毛に関する詳細な作用は明らかになっていません。

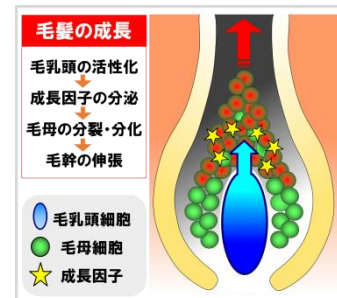


(写真上：アルファルファ)

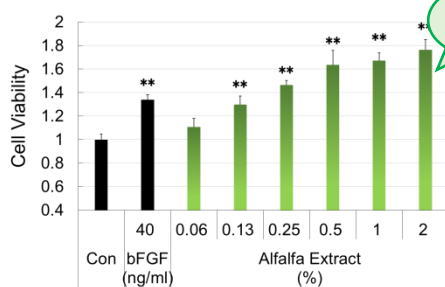
そこでリーブ21では、アルファルファ抽出エキスの毛乳頭細胞における影響について調査を実施しました。その結果、アルファルファエキスはヒト毛乳頭細胞の生存能活性を約1.8倍に上昇させ

【図1】、さらに毛髪成長の関連因子といわれる KGF, VEGF, bFGF の遺伝子発現量を促進することがわかりました【図2】。

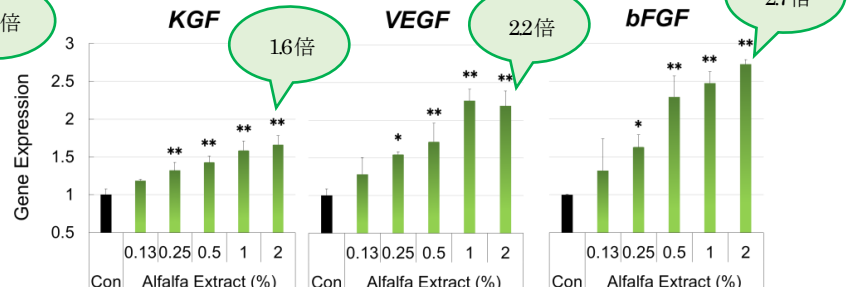
今後は、活性成分の探索やアルファルファの製品配合による影響などについて検討する予定です。



(イラスト上：毛髪の成長)



【図1】 ヒト毛乳頭細胞の生存能活性



【図2】 成長因子の遺伝子発現量の促進

【会社概要】

会社名：株式会社毛髪クリニック リーブ21、代表取締役社長：岡村勝正

ホームページ：https://www.reve21.co.jp/

本社所在地：大阪府大阪市中央区城見 2-1-61 ツイン 21MID タワー22F

設立：1993年11月、資本金：40,000,000円、主要サービス：頭髪の発毛施術サービス

【本リリースに関する取材のお問い合わせ】

株式会社 毛髪クリニックリーブ21 広報部

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-12-2 朝日ビルディング 3階

TEL：03-3510-1321 FAX：03-3510-1311 Email：kouhou@reve21.co.jp